

3 新幹線鉄道騒音調査資料

1. 調査件名

新幹線鉄道騒音調査業務

2. 調査目的

本業務は、滝沢村内各種環境調査業務の一環として、滝沢村が指定した東北新幹線沿線の2地点において現地騒音調査を実施することにより、新幹線騒音の実態を総括的に把握することを目的とした。

3. 調査地点

調査は、葉の木沢山の第一種住居地域の1地点及び滝沢トンネル北口付近の無指定地域1地点での合計2地点で実施した。表-1に調査地点を示す。また、調査地点位置図を図-1～図-2に示す。

表-1 調査地点

地点番号	調査地点	東京起点からの距離	下り側軌道中心からの距離
①	滝沢村字葉の木沢山 554-23	506.467km	25m
②	滝沢村滝沢字大崎地内	509.050km	25m

4. 調査年月日

調査年月日を以下に示す。

- ① 滝沢村字葉の木沢山 554-23 : 平成 18 年 8 月 3 日 (木)
- ② 滝沢村滝沢字大崎地内 : 平成 18 年 8 月 4 日 (金)

5. 調査結果

騒音レベルの調査結果を表-2に示す。

表-2 騒音レベル調査結果

地点番号	調査地点	東京起点からの距離	騒音レベル (dB(A))
①	滝沢村字葉の木沢山 554-23	506.467km	70 (前年比-1)
②	滝沢村滝沢字大崎地内	509.050km	74 (前年比-1)

6. 基準値との比較

今回行った騒音調査結果を、新幹線鉄道騒音環境基準（昭和 50 年 7 月 29 日環境庁告示第 46 号）と比較し表-3に示す。

今回実施した調査地点は、地点①が第一種住居地域、地点②が用途地域の定めのない

い地域であって住居が存在する地域である。このため、地点①についてはⅠ類型の基準値を、地点②はⅡ類型の基準が適用される。

表-3 新幹線鉄道騒音環境基準との比較

地点番号	調査地点	地域の類型	用途地域	騒音レベル	基準値
①	滝沢村字葉の木沢山 554-22	Ⅰ	第一種住居地域	70dB	70dB 以下
②	滝沢村滝沢字大崎地内	Ⅱ	無指定	74dB	75dB 以下

7. ま と め

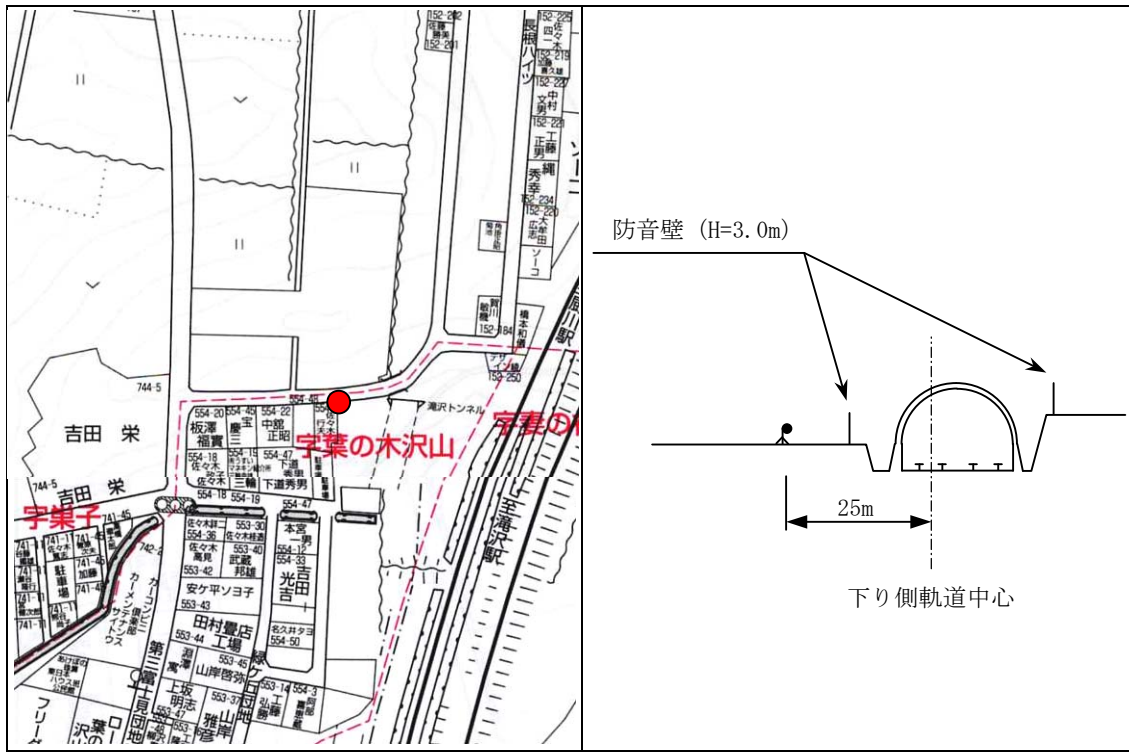
調査結果は上記のとおりであり、①、②地点とも新幹線鉄道騒音環境基準値を満足する結果であった。

騒音レベルの上位半数を占める列車のほとんどは、測定地点側を走行する下りであり、今回の調査結果から今後列車の走行状況（速度・編成種別等）によっては、①、②地点とも環境基準の超過が懸念される。

現在、新幹線の騒音防止に関する技術の開発・諸施策の実施を推進し、整備・車両の改善などの対策を積極的に実施している。

近年、新幹線騒音に対する地域住民の意識は高まっており、地域住民の生活環境を保持するためにも、今後の騒音の監視を行っていくことが必要であると考えられる。

測定状況等写真（滝沢村字葉の木沢山 554-23）



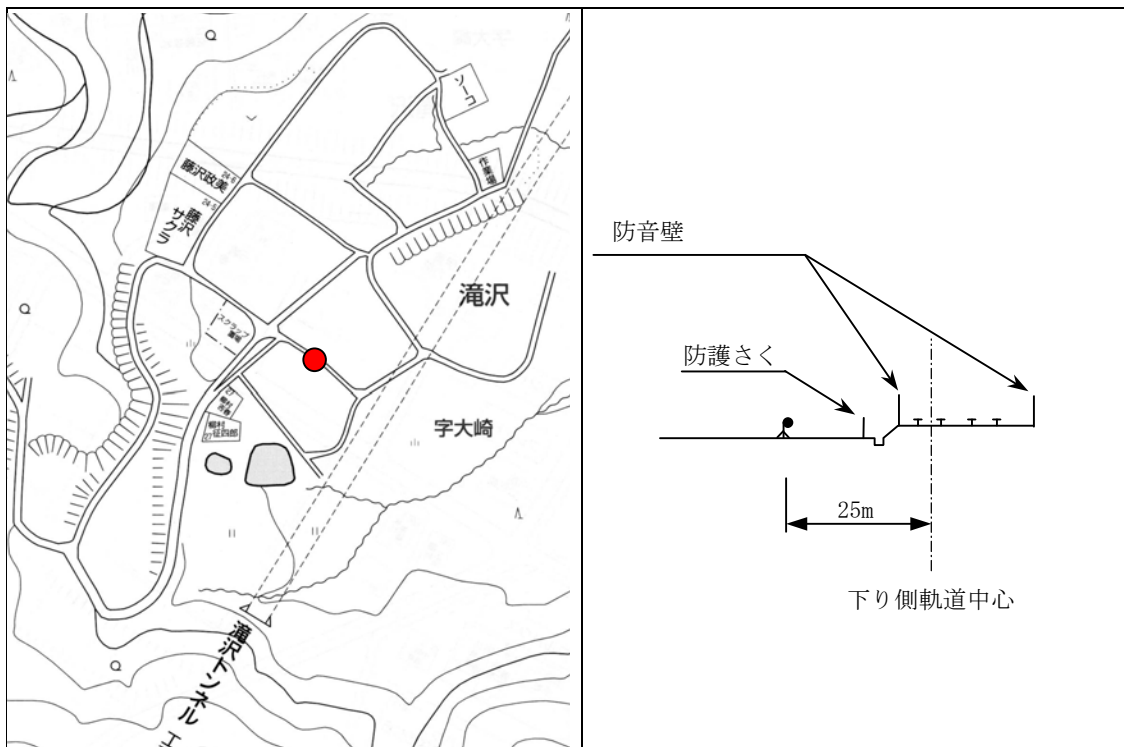
調査地点

断面図



調査地点遠景

測定状況等写真（滝沢村滝沢字大崎地内）



調査地点

断面図



調査地点遠景